

大会名	第72回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会			チーム名	1Q	2Q	3Q	4Q	延長	合計
期日	H30.6.2	会場	栃木県体育館	試合No.	日本学園	29	20	22	21	92
審判	(主) 河野 仁	(副) 山崎 敬次郎	大和田 雅人	D 1	宇短附	22	15	22	20	79

日本学園高等学校(東京)

コーチ 布施明史

A・コーチ

マネジャー

選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
鈴木 雅之	4											
佐藤 陽	5	17	3	9	2	7	4	6	2	0	1	1
菅野 達海	6	13	0	0	6	8	1	2	3	2	4	6
小林 良樹	7											
金井 ビーンズ	8	26	4	10	7	11	0	1	2	0	0	0
鈴木 礼	9	11	2	4	2	4	1	2	2	0	4	4
三浦 拓	10											
浅見 拓人	11											
尾島 啓介	12	0	0	1	0	1	0	0	3	1	1	2
井波 了	13	6	0	1	3	5	0	0	0	0	3	3
森野 悠之	14											
関 雲楓	15											
溝上 遥生	16	6	0	0	3	7	0	0	1	1	0	1
森 達義	17	9	0	0	4	7	1	2	3	1	3	4
室元 将司	18	4	0	0	2	6	0	0	4	7	6	13
チーム									0	0	2	2
合計		92	9	25	29	56	7	13	20	12	24	36
成功率			36.0%		51.8%		53.8%					

宇都宮短期大学附属高等学校(栃木)

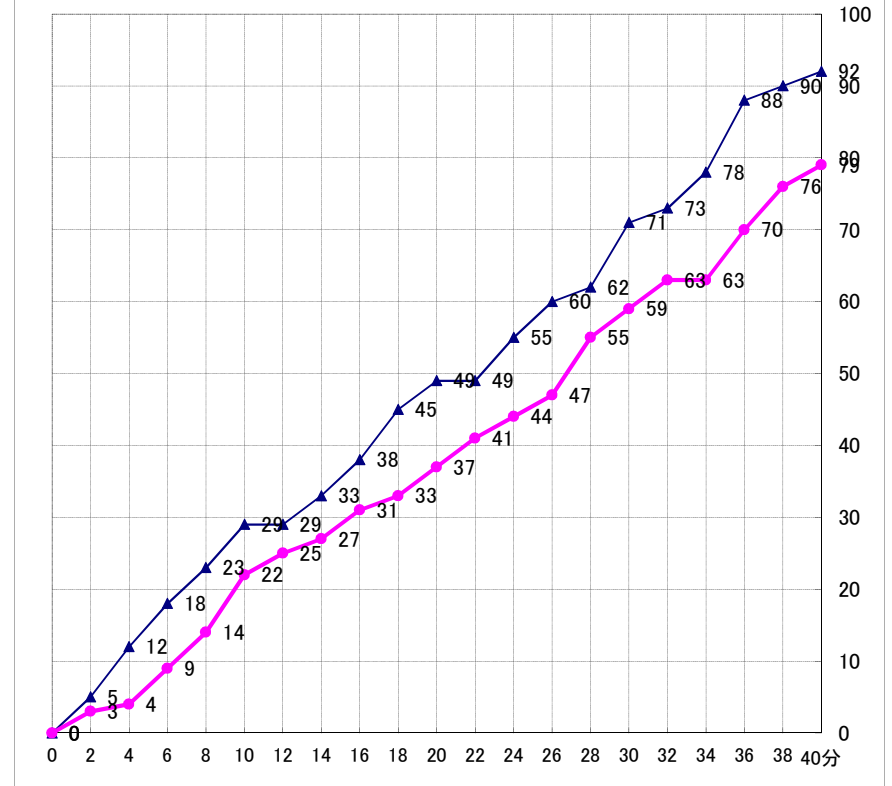
コーチ 小林充

A・コーチ 上阪龍範

マネジャー 鈴木詩歩

選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
御堂地 思音	4	21	2	7	6	13	3	8	1	0	7	7
大川 勇樹	5	13	1	4	5	11	0	0	2	0	3	3
小幡 敬	6	3	1	2	0	3	0	0	2	1	0	1
加藤 大悟	7	19	0	0	9	19	1	2	1	4	8	12
松下 拓泰	8	2	0	0	1	3	0	2	0	5	0	5
関 尚隆	9											
大島 泰成	10											
福里 在恩	11											
柴田 魁世	12											
金原 駿太	13											
中村 日向大	14											
影澤 祐希	15	14	1	3	4	8	3	6	3	3	6	9
本保 拓士	16											
工藤 優作	17											
水沼 礼成	18	7	0	1	3	6	1	2	4	1	2	3
チーム									0	4	2	6
合計		79	5	17	28	63	8	20	13	18	28	46
成功率			29.4%		44.4%		40.0%					

得点経過



戦評

1Q 両チームともマンツーマンディフェンス。激しい守り合いで始まった。宇短附は、序盤やや動きが硬い。次第に、日本学園#6菅野の高さを生かした攻守にわたる活躍と日本学園#8金井の3Pが決まり、主導権を握ったかに見えた。しかし宇短附は動きがよくなった終盤、#15影澤、4御堂地、5大川の3連続3Pで食いがかる。29-22日本学園リードで1Q終了。

2Q 宇短附#4御堂地の3Pで始まる。これで4点差。対する日本学園はなかなかシュートが決まらない時間が続く。宇短附もディフェンスからの速攻を決め、一進一退の攻防が続く。残り2分、日本学園#5佐藤の3Pにファウル。3つのフリースローを確実に決め、日本学園がリードを2ケタにする。終了間際、宇短附#7加藤が決め、10点差に迫るが、日本学園#13井波のブザービーター。49-37日本学園がリード保ち2Q終了。

3Q 宇短附#5大川、4御堂地の連続得点で始まるが、日本学園#6菅野の高さを生かした3連続ゴール下。なかなかリードが縮まらない。さらに日本学園#9鈴木とのドライブと3Pの連続得点でペースをつかんだかに見えたが、ミスから宇短附に速攻を許し、得点差は11点のまま。日本学園TO。さらに厳しいディフェンスから宇短附#15影澤、5大川、7加藤の連続得点。5点差に迫る。しかし、日本学園も激しいディフェンスで宇短附のミスを誘い、連続速攻をお返りする。残り1分、日本学園はゾーンプレスで宇短附にプレッシャーをかけ、再びリードを2ケタに戻す。71-59で3Q終了。

4Q 開始直後、宇短附ディフェンスからの速攻で10点差。しかしすぐさま日本学園#8金井の3P。宇短附なかなか得点を決められない時間が続く。また、もらったフリースローを決めきれない。対する日本学園#9鈴木、8金井の3P。残り5分ですぐに20点にリードがひろげる。宇短附マンツーマンプレスで食いがかるが、差が縮まらない。92-79で試合終了。日本学園が開幕戦を制し、二回戦に駒を進めた。

記入者 石崎 晃